

# 認知症サポーター養成講座

平成30年7月10日に上津弐番館で開催された、『認知症サポーター養成講座』の様子です。今回は上津の職員21名が参加された研修会です。



認知症サポーターの講師の方からオレンジリングを頂きました！

## ～江上先生からのコメント～

本日の「認知症サポーター養成講座」を熱心に学習頂きまして、ありがとうございました。本日で21名のサポーターの誕生です。どうぞよろしくお願い致します。





## スタッフの声



- ご利用者様の自尊心を傷つけるような対応をしないよう、職員全員で取り組んでいきたい。今まで出来ていた事が出来なくなる、時間がかかる等、私達のほんの少しの手助けや声掛けをして、安心して暮らせる場を作っていきたいです。ご利用者様とコミュニケーションを沢山とり、一緒に何でも挑戦していきたいです。沢山の笑顔で溢れる施設になるよう皆で協力し合って、悪いところは注意しあい毎日利用者様と一緒に過ごしていきたいです。
- 認知症サポーター様から、「認知症の人を応援します」という意思を示す「目印」であるオレンジリングを渡されました。街の中などで「この方は認知症かな」と思って話しかける時にもオレンジリングを身に着けていることで、周囲の人にも理解されることがあると思うので、温かい目で見守り、自分には何が出来るか考えていこうと思いました。
- 認知症の養成講座に参加させていただき、まず認知症の症状をよく理解すること、認知症になっても人格は失われず、感情は残されているということや、認知症の種類によっても症状が全く違うことなど、沢山のことを学ばせていただきました。これから認知症の方への対応を意識していきたいと思います。
- 年を重ねるごとに認知症は近づくし、認知症は誰でもなる可能性がある。認知症になると間違いが増えたり、お金の計算が出来なくなるなどの症状が出る。それを否定せず、周囲のさりげない手助けや声掛けが大切。この対応を心掛けなければならない。正しい知識を持って相手を理解すること。苦しくて不安なのは本人だということを頭に置いて、今後介護を行っていきたいです。今回は認知症サポーターの方達に来て頂き、活動内容を初めて知ることが出来ました。ありがとうございました。

